

自己紹介

サンコーコンサルタント(株)
東北支店長

武部 幸勅



「人物往来」の原稿を依頼された時、何を題材に書けば良いのだろうと考えた。漠然とした題名なので、自己紹介とさせていただく事にした。取り留めない話となりますがお許し願いたい。

<出身地>

出生地は青森県三本木(現十和田市)である。中学・高校は八戸市である。18歳で仙台にきたが、まだ路面電車が走り、八木山の橋はつり橋で、仙台駅は木造の時代であった。

○ 苗字

東北で武部の苗字は在りそうで余りないと思う。青森県八戸市新井田塩入に数十戸の部落があるが、半数程度が武部姓である。昔は、武部と式部を混用していたらしいが理由は不明である。

○ 武部の歴史

武部氏は、11世紀半ば(前九年の役)に源頼義の軍勢の一員として従って来た。出身は加賀国(石川県)とも大阪住吉とも言われ、そのまま八戸市種差に土着し、300年後に現在の場所に定着した。歴史に記録されたのは、南北朝時代に京都へ南朝側に武者5騎派遣したのが最初である。義経に援助した記録(アワ証文)もある。

明治にはいって木材工場や北海道でのニシン漁などの事業をしたが、何れも失敗し財産を失った。残ったのは若干の山林と畑である。

本家(祖父の実家)の家屋は元禄時代に作られたそうで、典型的な南部曲屋であった。父の話によると戦前には鉄砲(種子島)や刀やらが屋根裏にあったそうである。

<履歴>

大学を卒業して東京品川にある会社に就職した。地質調査の会社であるが、ほとんど知識のない業務で困惑した記憶がある。と言

うのは、大学での地質・土質学の講義は若干で殆どが鉱山工学であったからである。

しかし岩盤の調査・試験の業務では、この時の講義が大変参考になった。学生当時恩師より「鉱山工学は幅広く、卒業してもきっと役に立つ」と言われ、実感している。

縁があってサンコーコンサルタント(株)に入社した。入社翌年に仙台に転勤となった。以来20数年仙台支店に勤務している。

○ 試験盛土工事の計測助手

入社して1年程はボーリングの助手や現場代理人の助手などの見習をした。2年目に鹿児島に半年余り試験盛土工事の計測助手として出張した。試験工事であり、盛沢山の地盤計測・土質試験や重機性能調査等を実施した。この現場で土工の最初から最後の植生試験まで携わる事ができ、土質の基礎知識が実務を通じて習得できた。機会を与えていただき、関係者には感謝しています。

○ 宮城県沖地震

昭和53年6月12日夕刻に宮城県沖地震に遭遇した。この時、三陸の摂待の現場にいた。テレビでは、タンクの炎上を映しており「仙台は壊滅状態」との感であった。とりあえず仙台に戻ると建物は無事であったが、室内は台風後の混乱状態である。

兵庫県南部地震は特段の災害であり、日本列島のもろさを感じた。亡くなった方に合掌。

○ 軟弱地盤の調査

昭和56年に技術士に合格した。試験の前日まで現場で作業しており、殆ど準備らしい事はしていなかったので可能性は薄いと思っていた。面接では頭が真っ白となり、我乍らあがり症かなとの記憶がある。

昭和57年に名古屋で川越の埋立地で火力発電所の基礎地盤調査を担当した。当時でも珍しい程の調査数量と内容があった。調査深度約60mが60本と、砂・粘土の不攪乱試

料採取及び土質試験、原位置試験、常時微動探査、孔内検層である。この業務では埋め立て砂の液状化と地盤沈下がメインテーマであった。

○ 大水深での調査

昭和62年に青森県六ヶ所で約1年滞在した。六ヶ所沖の水深50mでのボーリング調査が3本と陸上部での調査である。天候に左右される作業であり、毎日・毎時、天気図と睨めっこであった。

濃霧で最接近した船などの出来事があったが無事事故もなく終了した。見積積算・計画書・現場・報告書と約2年の業務であった。

○ 地すべりの調査・設計

平成6年に東北自動車道の仙台南IC付近で発生した地すべりを担当した。9月末の未曾有の豪雨によるものである。発生直後から調査・測量・動態観測を実施し、対策工の検討・設計そして施工管理を実施した。

徹夜と半徹夜、体力の限界に挑戦であった。

○ 大阪への転勤

平成12年4月に大阪支店に転勤となった。何せ結婚してから一度も転勤した事がないので、不要物の山と格闘する羽目となった。転勤して一番大変だったのは、何せ「暑い」の一言に尽きる。自宅にクーラーは2台必要であった。

10月に東北支店転勤となり、大阪での生活は半年で終了した。京都見物すればよかったなあ。

<東北地質調査業協会>

平成元年より増田(現大阪支店長)の後任で、当協会の技術委員として平成11年までの11年間活動した。

○ 道路調査設計ノウハウ集

この間、平成9年より足掛け3年で、「道路調査設計ノウハウ集」の地質調査編のWG長として委員の皆さんからの原稿をとりまとめた。

委員の皆さんには、原稿作成に多大な御協力をいただき、この紙面を借りて御礼を申し上げます。お蔭様で「ノウハウ集」を平成11年10月に発刊し、約5000部がほぼ完売状況となっています。

○ 技術委員長として

平成12年5月には当協会から推薦を受け、全地連より第14号該当者として表彰されました。すてきな時計とともにありがとうございました。

平成13年より出戻り技術委員として、理事・技術委員長を仰せつかりました。大阪支店でも短い期間でしたが関西地質調査業協会の技術委員となりました。この時の経験や過去の経験を生かし、協会活動したいと考えております。

会員皆さんの御指導、御助力をお願いします。

<略歴>

昭和20年 8月	青森県十和田市生まれ
昭和39年 3月	青森県立八戸高校卒業
昭和44年 3月	東北大学資源工学科卒業
昭和44年 4月	第一開発(株)入社
昭和48年 4月	サンコーコンサルタント株式会社入社 本社地質部
昭和49年 1月	仙台支店地質課
平成元年 4月	同支店支店長代理
平成12年 4月	大阪支店副支店長
平成12年10月	東北支店長

<趣味・その他>

囲 碁：3段位、最近打ってないのでもっと弱いかもしれない

読 書：乱読、数千冊あったが引越して大半を処分した、残念

やき物：陶・磁器の鑑賞、むしろやき物産地の美味しい物に興味あり

料 理：旨い酒を飲むには美味しい肴が欲しい

血液型：B型、献血するも最近コレステロール値が増大し問題だ